

[SPECIAL REPORT]

(株)クレディセゾン

給与受取(前払い)サービス

「Advanced pay SAISON」(アドペイ)

システム導入・運用時の負担は軽微
アルバイト・パート募集率を2倍にスムーズな人材確保につながる
募集時の訴求力が高い「給与前払い」

緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の解除に伴い、営業規制が解除されるなか、パートやアルバイトなど非正規雇用者が労働力の核となる飲食・サービス店舗、レジャー施設では、人材確保が喫緊の課題となっている。

昨今ではパート・アルバイトの職場選びの決め手となるのは、「給与(時給、日給、月給)の高さ」に限らない。求人、人材紹介のエン・ジャパン(株)の求人情報サイト「エンバイト」で2019年、ユーザー2,925人を対象に行なった調査によると、「あって嬉しかったアルバイトの待遇・制度」として「日払い・週払い」は、「交通費支給」、「まかない・お弁当などの食事補助」に続く3位に位置している(男性のみ)。

特に若年層における、冠婚葬祭やイベント・行事、医療費など急な出費の発生はつきもの。経済的余裕のない学生やフリーター、またカードローンに抵抗がある人などが「日払い・週払い」の条件でパート・アルバイト先を決めるケースは珍しくない。雇用する企業側にとってもこうした働き手のニーズは、無視できないものとなってきている。

このような背景から近年では、働いたぶんの給与を「前払い」対応する企業が増加。それに伴い「給与前払いシステム」を企業に提供する事業者も登場している。

(株)クレディセゾンが17年7月から提供開始している給与受取(前払い)サービス「Advanced pay SAISON」(アドペイ)は、スマートフォンを使った簡単操作で、従業

員がいつでも前払い申請でき、最短で申請当日に振込みを完了できるシステムだ。

現在、国内企業250社超がアドペイを導入しており、数ある類似サービスのなかでも非常に高い評価を受けている。人材派遣業や飲食業での導入が進んでいるほか、新型コロナウイルス感染症拡大以降は、スーパーなどの小売業、さらにはレジャー施設の運営企業など、導入企業が広がっている。

「導入企業さまの多くは、求人の際に給与前払いを強調することで、よりスムーズな人材確保につながっています。実際、アドペイ導入前と導入後でアルバイト求人に対する応募率が2倍以上に増えた企業もあります」と同社の岩室麻理子氏。もちろんそれら導入企業では正社員もアドペイの利用対象で、社内の福利厚生の一環としても大い

に活用されている。

前払いは“立替え制”
企業側のキャッシュフローはそのまま

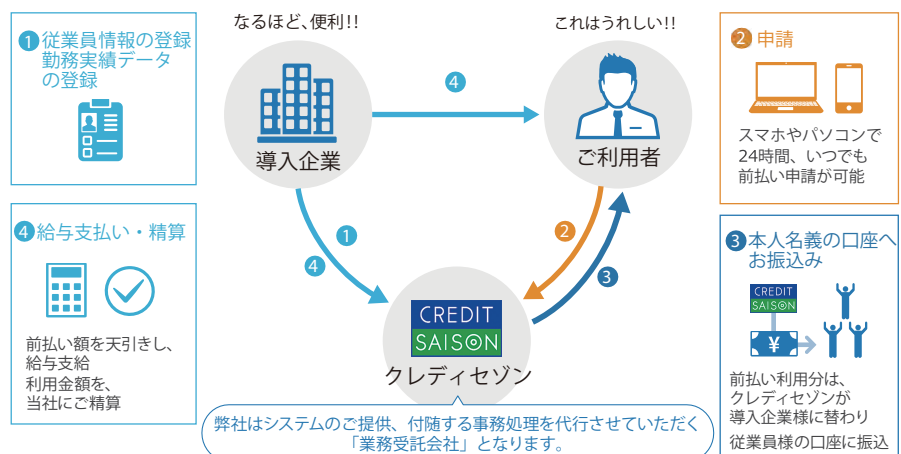
アドペイは、企業が管理する従業員情報と勤務実績データをもとに、企業の設定に基づいて個々の従業員の前払い可能額を計算し、その金額の範囲内で申請された前払い金を支払うサービスだ。申請受付から振込み完了までワンストップで対応する。

他の類似サービスと比較した最大の特徴は、導入企業側の手間や負担の少なさにある。主なポイントは以下の3点だ。

①導入時の負担が最小限

アドペイ導入にあたっては、新たな法人口座を開設する必要がなく、導入コストも不要。従業員情報や勤務実績データの登録は企業側が行なうが、専用の管理画面か

図表 サービス利用の流れ



Copyright © CREDIT SAISON CO., LTD. All Rights Reserved.

CASE STUDY

東京ジョイポリス

導入後すぐにアルバイト応募人数が増加
スタッフのモチベーション向上にも効果

ら簡単な手続きで登録可能。最短1か月程度で利用が開始できる。

②キャッシュフローはそのまま

サービスの流れは図表のとおり。他の類似サービスのなかには、前払い金をサービス事業者にあらかじめ支払う“デポジット制”をとっているケースもある。アドペイの場合は、従業員に振り込まれる前払い金はクレディセゾン側が“立替え”し、給与支給日に一括して精算する仕組みなので、導入企業のキャッシュフローそのままに運用できる。クレジットカード事業を本業とする同社ならではの強みだ。

③利用者への盤石なサポート体制

アドペイ利用に関する従業員からの問合せは、同社内に設けられたコールセンターが対応するため、導入企業に負担がかからない。

「導入から運用まで、すべての面で導入企業さまに負担をかけないシステム設計が、アドペイの大きな特徴です」と岩室氏。導入後のシステム運用において企業側が行なうのは、新規従業員の登録や定期的な勤務実績データの登録など、ごく限られた作業となっている。

一部金融機関では申請後すぐに振込み
利用方法の説明動画も制作

一方、アドペイを利用する従業員にとって使いやすいシステム設計となっている。

手持ちのスマートフォンで専用サイトにアクセスし、メールアドレス登録やパスワード設定などの初期設定を行えば、いつでも前払い申請が行なえる。振込み先口座は、給与振込で使用している口座以外に、2か所まで登録が可能。前払い申請時に振込み先口座を指定することができる。

一般的な金融機関の口座を指定した場合、平日の午前11時までに申請すれば当日中に振込みが完了され、11時以降の申請は翌営業日の振込みとなる。一方、セブン銀行、ゆうちょ銀行口座の場合は、24時間365日、申請後すぐに振込みが完了する。

「さらに、年内を目処に三菱UFJ、三井住



CAセガジョイポリス(株)
施設事業運営部
東京ジョイポリス
人事・クラークマネージャー

大澤東光氏

東京・台場の「東京ジョイポリス」で、従業員への福利厚生の一環として2019年7月にアドペイを導入しました。当時、給与前払いシステムはすでに話題になっていましたが、実際に導入している企業はまだ少数でした。クレディセゾンの担当の方から話を伺い、さまざまなメリットがある一方で導入リスクはほ

友、みずほのメガバンク3行も対応する予定です。これら3行の口座でも申請後すぐに振込み完了する体制を整えることで、利用者さまにはこれまで以上に便利さを実感していただけたと思います」と同社の北亜矢子氏。なお1回の前払い申請の限度額や、1か月間の申請回数の制限などを、導入企業側であらかじめ設定しておくことが可能だ。

アドペイのサービス提供開始から4年が経過し、その間、導入企業や利用者の声をもとにシステムのバージョンアップを図ると同時に、各種オプションサービスの充実にも注力してきた。

アドペイの認知を広め利用率を高めるため、同社では利用方法をわかりやすく紹介する動画を作成したほか、社内配布用の告知ツール・グッズも用意している。

また男女別の利用状況では、女性の利用がやや多いという分析結果も出ている。

「女性の利用が多い理由は一概にはい

とどかないことから、他社に先駆けて導入することを決めました。

導入後すぐに効果が確認できました。導入した7月以降の6か月間、アルバイト募集に対する応募人数が560人となり、前年同時期と比べて2.5倍に増加。採用人数も約2倍となり、必要な人材が十分に確保できました。

クレディセゾンの分析によれば、弊社におけるアドペイの利用率は、全スタッフの2割程度。他の導入企業と比べて、やや多い数字だそうです。具体的な利用内容についてはプライベートに関する事なので細かく聞けません。雑談程度に話を聞いたところ「頑張ってる自分へのご褒美」で使った女性アルバイトがいるなど、総じてスタッフのモチベーション向上に役立っているようです。

コロナ禍では一時的にスタッフの人数を減らさざるを得ませんでした。今後、コロナ収束を見据えて改めて新規募集をかける予定なので、アドペイ導入効果に期待しています。

えませんが、たとえば主婦の場合、クレジットカードを作成してもキャッシングがつかないケースが多く、ご家庭での急な出費に苦労することが少なくありません。そういったパートで働く主婦層などの利用が一定数あるのではないかと北氏は分析する。同様に、日本国内でクレジットカードが作りにくい外国人労働者にとっても、心強いサービスとなるだろう。

新型コロナウイルス感染症が収束して経済が回りはじめれば、感染拡大以前のように多くの労働力が必要となるのは間違いのない。同社ではアドペイをはじめとする実用性の高いサービスでバックアップしていく構えだ。



■問合せ先
 (株)クレディセゾン
 アドバンスドペイ セゾン担当
 TEL:03-3988-2135 (平日9:00~17:00/土日祝日休み)
 Mail:adpay_info@mail.saisoncard.co.jp